

平成 30 年 5 月 22 日現在

機関番号：32686

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）

研究期間：2016～2017

課題番号：15KK0061

研究課題名（和文）北イスラエル王国時代末期の実証的歴史研究（国際共同研究強化）

研究課題名（英文）Empirical Historical Study of the Last Days of the Northern Kingdom of Israel  
(Fostering Joint International Research)

研究代表者

長谷川 修一（HASEGAWA, Shuichi）

立教大学・文学部・准教授

研究者番号：70624609

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 11,300,000円

渡航期間： 12ヶ月

研究成果の概要（和文）：異なる学問分野の総合研究という側面が足かせとなり、従来十分に検討されてこなかった北イスラエル王国時代末期（紀元前8世紀後半）について、聖書学・アッシリア学・考古学の研究者による国際研究ネットワークを構築し、「北イスラエル王国時代末期」についての国際会議を開催した。学際的歴史研究である本研究の手法は国際的に高く評価され、世界各地で講演に招待された。また、上記国際会議における発表は、ドイツの出版社から国際的に著名な叢書として2018年中に出版される。

研究成果の概要（英文）：The Last Days of the Northern Kingdom of Israel (the late eighth century BCE) have not been adequately investigated due to the complexity of the synthesis of all the relevant data from different disciplines such as biblical studies, Assyriology and archaeology. This study first constructed an international research network on the subject and held an international conference on the subject inviting established scholars from the world. The results of the conference as well as the method of this study were highly appreciated, which led to the publication of the monograph based on the conference by De Gruyter in 2018 (forthcoming).

研究分野：オリエント史

キーワード：北イスラエル王国 新アッシリア サマリア

### 1. 研究開始当初の背景

(1) 北イスラエル王国時代末期(紀元前 8 世紀後半)は、『旧約聖書』、新アッシリア・新バビロニアの碑文史料、考古学的資料と多くの史料が存在していたにもかかわらず、また、メソポタミアとエジプトとの間に位置する南レヴァントという地域史は、当時の西アジア史全体を考えるうえで非常に重要であるにもかかわらず、従来十分に検討されてこなかった。その主たる理由は、この史料を扱う学問分野が聖書学、アッシリア学、考古学という別個の学問分野に分かれており、研究分野間の対話が不十分であったことにある。北イスラエル王国は、新アッシリアによって紀元前 8 世紀後半に征服されるが、この出来事が直接的・間接的に南ユダ王国の台頭を促し、「イスラエル」という概念を継承して後に『旧約聖書』を形成する神学の一潮流ともなったことから、宗教史的にも同時代は極めて重要である。

(2) これまで研究が停滞していた主たる理由は、これら各資料の研究が高度に専門化しすぎた結果、総合的歴史研究に必要な分野間の対話が十分になされてこなかったことにある。

### 2. 研究の目的

本研究の最大の目的は、上記三分野の研究者による国際研究ネットワークを構築し、より実証的な北イスラエル王国時代末期の歴史を再構成することにある。

### 3. 研究の方法

(1) 聖書学・アッシリア学・考古学という異なる三分野の研究者による国際研究ネットワークを構築する。

(2) 構築したネットワークを利用し、北イスラエル王国時代末期の歴史に関する国際会議を開催し、この主題に関する意見交換をしてより実証的な北イスラエル王国時代末期の歴史を再構成する。

### 4. 研究成果

(1) アジア・ヨーロッパ・アメリカにまたがる聖書学・アッシリア学・考古学という異なる三分野の研究者による国際研究ネットワークを構築できた。これは今後の古代イスラエル史のみならず、さらなる古代西アジア史研究の基盤としての活用が期待される。

(2) ミュンヘン大学において「北イスラエル王国時代末期」という題目の国際会議を開催し、18 名の高名な研究者を世界各国から招へいし、意見交換を行った。その結果、北イスラエル王国時代末期の歴史を時間的・空間的により広い古代史の文脈に定位することができた。

(3) 上記国際会議の成果を英文の書籍としてドイツの出版社から 2018 年中に出版する。

(4) 異分野の学際的歴史研究である本研究の手法が国際的にも認められ、国内外で多くの招待講演を行った。

### 5. 主な発表論文等 (研究代表者は下線)

[雑誌論文](計 8 件)

Shuichi Hasegawa, David and Goliath: Towards a Dialogue between Archaeology and Biblical Studies, S. Ahituv et al. Eds. "Now It Happened in Those Days": Studies in Biblical, Assyrian and Other Ancient Near Eastern Historiography Presented to Mordechai Cogan on His 75th Birthday, 査読無、第 2 巻、2017、607 - 622

Shuichi Hasegawa, Josiah's Death: Its Reception History as Reflected in the Books of Kings and Chronicles, Zeitschrift fuer die alttestamentliche Wissenschaft, 査読有、129 巻、2017、522 - 535  
DOI:  
<https://doi.org/10.1515/zaw-2017-4006>

Shuichi Hasegawa, Kanah A River; Kanah A Town, Encyclopedia of the Bible and Its Reception, 査読無、15 巻、2017、20  
DOI:10.1515/ebr.kanah

Shuichi Hasegawa, Hisao Kuwabara, Yitzhak Paz, Tel Rekhesh 2014: Preliminary Report, Hadashot Arkheologiyot, 査読無、129 巻、2017、Web 出版

長谷川修一、『旧約聖書』に見られるワインとビール、西アジア考古学、査読無、17 号、2016、37 - 43

長谷川修一、特輯「聖書学・歴史学・考古学」に寄せて、古代文化、査読無、68 巻 3 号、2016、21 - 24

長谷川修一、聖書考古学のゆくえ、古代文化、査読無、68 巻 3 号、2016、68 - 69

長谷川修一、北イスラエル王国時代末期の歴史的研究序説、小川英雄先生傘寿記念献呈論文集刊行委員会編『古代オリエント研究の地平 小川英雄先生傘寿記念献呈論文集』、査読無、巻号なし、2016、91 - 109

[学会発表](計 13 件)

Shuichi Hasegawa, Did Joram Remove the Pillar of Baal (2 Kgs 3:2-3)?, Society of Biblical Literature International Meeting, 2017

Shuichi Hasegawa, The Importance of Textual Criticism of the Hebrew Bible、浙江大学、2017

Shuichi Hasegawa, The Texts of the Old Testament、浙江大学、2017

Shuichi Hasegawa, Textual Criticism and Literary Criticism、浙江大学、2017

Shuichi Hasegawa, Comment I ' archeologie peut éclairer la Bible、College de France、2017

Shuichi Hasegawa, Tel 'En Gev in the Iron Age II: Material Culture and Political History, Dependency and Autonomy in Intercultural Relations: Israel and Aram as a Case Study、2016

Shuichi Hasegawa, Who Killed the Sons of Zedekiah (Jer 52:9-11; 2 Kgs 25:6-7)?、Society of Biblical Literature International Meeting、2016

Shuichi Hasegawa, Did the Author of the Book of Kings Know the Circumstances of Josiah ' s Death (2 Kgs 23:29)?、International Organization for the Study of the Old Testament、2016

Shuichi Hasegawa, Archaeology and the Hebrew Bible、浙江大学、2016

Shuichi Hasegawa, From Archaeology to History、浙江大学、2016

Shuichi Hasegawa, The Interaction between Archaeology and Biblical Interpretation、浙江大学、2016

Shuichi Hasegawa, A New Perspective of Biblical Archaeology、復旦大学、2016

Shuichi Hasegawa, Who Killed Ahaziah in the Book of Chronicles?、Johannes Gutenberg Universitaet Mainz、2016

〔図書〕(計1件)

Shuichi Hasegawa, Christoph Levin and Karen Radner (eds.), The Last Days of Kingdom of Israel、De Gruyter、2018 (出版確定済み)、総頁不明

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称:

発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計 0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
取得年月日:  
国内外の別:

〔その他〕  
ホームページ等  
<http://www2.rikkyo.ac.jp/web/shasegawa/eng/index.html>

## 6. 研究組織

### (1)研究代表者

長谷川 修一 (HASEGAWA, Shuichi)  
立教大学・文学部・准教授  
研究者番号: 70624609

### (2)研究協力者

〔主たる渡航先の主たる海外共同研究者〕  
Karen Radner  
ミュンヘン大学・歴史ゼミナール・教授

Christoph Levin  
ミュンヘン大学・プロテスタント神学部・教授

〔その他の研究協力者〕

Andrea Squitieri  
ミュンヘン大学・歴史ゼミナール・ポスドク

梁 慧 (LIANG, Hui)  
浙江大学、基督教与跨文化研究中心・副教授

Oded Lipschits  
テル・アヴィヴ大学・考古学研究所長・教授

Israel Finkelstein  
テル・アヴィヴ大学・考古学研究所・教授

橋本 英将 (HASHIMOTO, Hidemasa)  
天理大学・文学部・准教授

宮崎 修二 (MIYAZAKI, Shuji)

立教大学・文学部・兼任講師

小野塚 拓造 (ONOZUKA, Takuzo)  
東京国立博物館・学芸研究部調査研究課東  
洋室・研究員

酒井 英男 (SAKAI, Hideo)  
富山大学・理学部・教授

菅頭 明日香 (KANTO, Asuka)  
青山学院大学・文学部・准教授